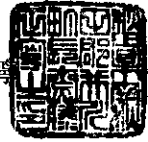


井収第 8433号
平成20年10月20日

国土交通省道路局長様

井川町長 齋藤 正 等



今後の道路行政についての意見・提案について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のあった標記については、別添のとおり回答する。

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

秋田県井川町

- 高速道路については、ネットワークが形成されて初めてその効果が現れることから、対象箇所については最優先し早期に完成させるべきだ。
- 地域によって状況が異なるので、地域の活性化を進めるためには、全国一律の規格や構造でなく、地域の実情に応じた内容に切り替えて、事業を推進すべきだ。
- 経済社会が大きく変化している中では、計画期間を今までの10年単位から5年程度縮小して、整備効果を上げるため事業を集中実施すべきだ。
- 選択や集中によって効果的な事業を実施するには、地域の事情を把握している地元住民に事業について十分に説明し、理解を得ながら事業を進めるべきだ。
- コスト削減の推進は当然のことだが、適正な品質確保はより重要なことなので、規格、構造、工法などの見直しにより、総合的なコスト削減を図るべきだ。
- 供用済の高規格道を有効利用するため、高速料金の引下げを実施すべきだ。すでに一部で実施されている社会実験をもっと進めるべきだ。
- 地域経済の活性化を図ること、道路事業の費用対効果を高めることなどから引き続きETCの整備を促進すること。また、高速道路を利用する都市間連絡バスシステムを確立させるため、高速バスストップの整備を進めるべきだ。

②-1 地域の現状と抱える課題

秋田県井川町

○現状

本町での道路網の整備は、県都秋田市への車での移動所要時間を短縮し、通勤や通学、または消費活動などの行動範囲の拡大や交流密度の向上を実現し、本町は県中央部と県北部の中継地点として重要な役割を担っている。今後、本町は県中央部と県北部を結ぶ交通の要衝としての役割のみならず、移動交流の拠点として機能していく必要がある。

○課題

通勤通学などにおいて、慢性的な渋滞をなくし、雪に強く、突発的な災害に速やかに対処できるよう、また高齢化社会を見通し、歩行者に安全な交通基盤を充実させ、生活を便利にさせるだけでなく、地域産業や観光振興を通して地域の活性化を図るようすべし。

②-2 地域の目指すべき将来像

秋田県井川町

本町では、利便性のみならず、地域の実情と安全性を十分に考慮した道路整備に努め、歩道の確保や段差の解消など、歩行者の安全確保に努めます。また、路線バスの廃止に伴い、代替交通手段としての町の巡回バスを走らせたことから、このコースにあたる路線の整備が特に重要となっています。その他県都秋田市の近郊である特性から、地理的条件をいかしながら、人的かつ物質的、または文化的交流を図るため、交通網の整備に努める必要がある。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

秋田県井川町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
少子高齢化社会に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成	幹線道路で、歩道が連続していないため、安全を確保できていない部分があること、また、道路端の側溝部が歩行者にとって危険な箇所が多く残っていること、路線バス廃止に伴う代替バス路線の幅員が狭小で、冬期間の雪道で十分な交通幅が確保できていないこと。	整備されることにより、安全、安心の道路となり、利便性が高まるとともに高齢化社会に多大な貢献が期待される。	